

1 日目プログラム

10:30 ~ 受付開始

11:00 ~ 12:20 組織マネジメントの基本

組織にはリーダーが必要である。リーダーのマネジメントの仕方によって、その組織やその組織に所属する職員の成果や成長に大きな違いが生じる。組織マネジメントには原理原則(基本)があり、リーダーは、組織マネジメントについて学ぶことが必要である。基本について知り、それに基づいたマネジメントをしないと良い結果は得られない。都度改定される制度や報酬単価に対応することも大切であるが、ここでは組織マネジメントのための基本的事項について話をします。

- **基本的事項の再確認**
組織/事業/マネジメント/チーム・マネジメント/リーダー/お客様/位置と役割
- **具体的方法**
 - 1) **PDCA サイクル**
状況を把握しましょう/課題を抽出しましょう/要因分析をしましょう/計画を立てましょう/やってみましょう/結果検証
 - 2) **リスクマネジメント**
苦情/ヒヤリハット/事故/感染/災害など
- **リーダーとしての基本的行動**
心のあり方/物事の考え方/行動のあり方

12:20 ~ 13:10 昼食

13:10 ~ 14:30 目標指向型組織マネジメントの実践

「何のためにこの仕事に就くのか?」「何のためにこの組織があるのか?」。職員一人ひとりがそのような問いかけを繰り返す風土をつくるのが、組織を強固にする。組織を生き物と捉えてみると、作業療法が組織の課題を解決する考え方や手段へと導いてくれる。目標指向型の組織マネジメントについて、勤務時代から起業に至る現在までの経験を通して伝えたい。

- **起業するに至ったきっかけ**
- **組織の目的を共有するために**
良い対立環境とは/企業経営者になって分かったこと/何のための組織なのか
- **組織の目標を立て、確実に実行していくために**
PDCAを回すコツ/MTDLPで考える/BSCの実践
- **なるぞの組織マネジメント**
マネジメントの軸になるもの/具体的な手段/職員に求める4つの能力
- **マネジメントを武器にする**
マネジメントされている?している?/自分自身のマネジメントに還る

14:40 ~ 16:00 OTが管理職をすることの意味
—活性化する組織と介護事業運営

今回のマネジメントセミナーは、私にとって「作業療法とは?」という根源的な意味を再考する機会である。学生時代、臨床・教育・運営・管理の36年間を通じて、私のなかで「何を学び」「何を得てきたのか」、そして「その学びをどのように現在のマネジメントに活かしているのか」をお伝えしたい。一貫して、私が作業療法士として大切にしてきたものは、人が主体的になること、その環境を整えることであり、このマネジメントが作業療法であると考えている。

- **学生時代に学んだこと**
夜間の養成校であり、障害者の生活実習所で働いているときの作業との出会い
- **作業療法士として、重症心身障害児者との出会い**
生活の連続性を支援するという、繋ぐ・繋がるための作業療法の意味を知る
- **作業療法を実践するための環境の矛盾**
理想と現実のギャップのなかで、もがき苦しみながら考えた作業療法
- **環境を作るための挑戦**
経験から自己で考えた仮説に基づく、人が主体的な作業を行うための環境づくり
- **介護老人保健施設の管理者(施設長)として……**
管理者として約18年が経過し、作業療法士がマネジメントをすることの意味に気づく

16:00 ~ 17:00 意見交換会

Profile

太田 睦美

(作業療法士)

一般財団法人 竹田健康財団
介護福祉本部長代理

介護福祉本部という、介護・福祉(一部保健・医療)領域における事業を企画・運営・統括する仕事をしている。

Profile

谷川 真澄

(作業療法士)

有限会社なるぞ
代表取締役

総合病院(身障、発達)、老健、精神科病院、訪問リハビリ各分野を経て起業。事業開始後14年経過、現在、介護保険5事業と、保険外事業としてフィットネス、総合事業の委託事業などを行っている。

Profile

土井 勝幸

(作業療法士)

介護老人保健施設
せんだんの丘施設長

介護老人保健施設の管理者(施設長)として勤務、現在老健本体事業に加え、介護保険事業・総合事業等の11事業を運営し、地域包括ケアシステムの構築に奮闘している。

2 日目プログラム

9:00 ~ 受付開始

9:30 ~ 10:50 地域包括ケアシステムにおける作業療法士の可能性

地域包括ケアシステムのなかで、地域ケア会議、総合事業における作業療法士の可能性について話をします。地域包括ケアシステムに貢献する作業療法士の在るべき姿、それそのものが組織マネジメントである。

- **地域包括ケアシステムとは**
なぜ地域包括ケアシステムなのか/少子高齢化と社会保障との関連性
- **地域ケア会議と総合事業について**
作業療法士の役割
- **地域アセスメントについて**
個のアセスメントから地域のアセスメントへ
- **地域づくり**
行政、住民、多職種と協業することに意義
- **作業療法士の可能性……と現実**
作業療法士の可能性は無限だが……地域に作業療法士がいない!期待に応えることのできる作業療法士がいない!

11:00 ~ 12:20 組織を作業療法する
—医療・介護・障害福祉・地域から見えてくる作業療法士の可能性と役割

作業療法部門の立ち上げからリハビリテーション科全体を統括するにあたり、その経緯と苦労について伝えたい。また、法人全体の運営や新規事業に作業療法や地域リハビリテーションの考えを盛り込み、当法人の強みを活かした経営戦略について話をします。

- **志村フロイデグループの概要とリハビリテーション科の使命**
法人 Vision とリハビリ科/病院における組織マネジメント/在宅リハビリと多職種協働
- **あらゆる事業に作業療法士の視点を入れる**
全世代全対象型地域包括ケアを目指して
- **法人課題の抽出と解決に向けた巻き込み力**
組織は生き物/地域課題の解決に向けた取り組み
- **住民同士のつながりとまちづくり**
なぜ、まちに出るのか/介護予防と地域活性/社会資源の開発 など

12:20 ~ 13:10 昼食

13:10 ~ 15:00 シンポジウム
5人の講師と参加者が本気で意見交換
—本音で組織マネジメントを話し合う!

一人ひとりが主体的に意見をだし、組織マネジメントの課題や解決に向かうための方向性を見出し、行動に移すための具体的な方法を創造する。

【注意事項】

- 演題タイトル・講師などは追加・変更になる場合がございますのでご了承ください。
- セミナーに参加申し込みをされた方には、受講票とアンケート用紙をお送りいたしますので、FAX またはメールで、事前に回答をお願いします。講師が事前に目を通させていただきます。
- セミナー参加で宿泊をする方は、ご自身で早めに宿泊施設の予約などを行ってください。
- 今後、本セミナー参加者のためのフォローアップセミナーも企画中です。

Profile

佐藤 孝臣

(作業療法士)

株式会社ライフリー
代表取締役

現在、地域支援のアドバイザーや厚生労働省の委員、日本作業療法士協会の理事などを行っている。OTとしてのアイデンティティを核にもちながら、職種にとわれない視点で作業療法に新しい分野を開拓している。

Profile

寺門 貴

(作業療法士)

志村大宮病院・茨城西北総合
リハビリテーションセンター科長

志村大宮病院 リハビリテーション科 科長。茨城県作業療法士会副会長。病院、介護保険事業、障害福祉領域におけるリハビリ職の統括。現在、自立訓練(機能訓練)事業所の管理者も兼務。他、まちづくりチーム「フロイデ DAN」団長。

